

第 32 回独立行政法人国民生活センター契約監視委員会会議事概要

開催日	平成 28 年 5 月 23 日（月）	
場所	独立行政法人国民生活センター東京事務所 5 階特別会議室	
出席委員氏名	委員長 鈴木 幸弘（独立行政法人国民生活センター監事） 委員 有川 博（日本大学総合科学研究所教授） 委員 山内 容（弁護士） 委員 竹内 啓博（公認会計士・税理士） 委員 岩田 三代（独立行政法人国民生活センター監事）	
抽出案件	2 件	（備考） ・委員長退任に伴い、委員長を互選した。 ・事務局から、今回の審議対象の契約件数等について報告した。 ・岩田委員から、第 4 四半期の契約の状況を踏まえ、一者応札・一者応募かつ落札率 90%超となった契約を審議対象とした旨、報告した。
（内訳）		
一般競争入札	1 件	
公募	1 件	
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	平成 27 年度第 4 四半期に契約締結した抽出案件および検証結果の審議内容は、別紙のとおり	平成 27 年度第 4 四半期に契約締結した抽出案件および検証結果の審議内容は、別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>【事案1】Internet Explorer のバージョンアップに伴う非互換調査業務一式（公募）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 調査結果は如何。</li><li>・ 作業工数、作業単価の市場価格等を確認するなど、契約金額の妥当性についても検討してほしい。</li><li>・ 今回のバージョンアップに係る調査の対象となったシステムについて、汎用性のあるソフトを使用するなど、今後他社が参入しやすいシステムにすることはできないのか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ バージョンアップに伴うシステム改修の必要はないとの結果であった。</li><li>・ ご意見を踏まえ、今後も契約金額の妥当性について検討することとしたい。</li><li>・ ご意見を踏まえ、システムの刷新時に検討することとしたい。</li></ul>
<p>【事案2】平成28年度ホームページシステムに係るサーバ等ハードウェアの調達及び設計・設定・ソフトウェアの導入作業及び運用・システム保守業務支援一式</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 1者応札となった要因は把握しているか。</li><li>・ 本件規模の調達では、人員の確保等の観点から事業者にとって準備期間が短かったと史料される。今後は事業者が参入しやすいように、発注情報を早めに開示するなど、事業者の検討時間を設けてはいかが。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 応札に至らなかった事業者に事情を徴取したところ、人員の確保等システム構築及び開発への対応が困難であることや、実績及び体制整備にかかる費用等を総合的に勘案した結果応札しなかったとのことであった。</li><li>・ ご意見を踏まえ、今後の調達時に検討することとしたい。</li></ul>